草にとることも出来べし

霜にしく枯葉にひら〳〵うつゝを狸ことハありてかけぬまのかた

ひらむハ飛所にひらく飛也ひらめくとも云平(ヒラ)の字成べし

かく地に附くとしれど落る韻をも狸ことのよろしき宿ハかけて

とらぬめのうへ雅とるとらへる也さわぐハさわくとも書く

ひゞく鳴る音也霜の枯葉に風吹くよそぎなる音也

志ぐれなく秋の山路にみちく屑の席るもこゝ初く紛るこのり人

紅葉にて屑ハ赤屑也上ノ句ハ序也何となく時雨ふるくもこゝちのさ

付初る句ひをふくめるをなくハ此日ごろと違ひ時雨にありし

目なれハこゝハとりこハ初て時雨比為又にやめて紛る也成べし